

令和8年度 第1回国立大学法人静岡大学長選考・監察会議議事要録

日 時 令和8年6月24日（水）16時15分～17時32分
場 所 浜松キャンパス S-Port 3階会議室
出席者 大石、坂本、鈴木、牧田、大島、鎌塚、山本、福田の各委員
欠席者
陪席者 飯田監事、佐藤事務局長、興津総務部長
事務局 中尾総務課長、杉山総務課副課長

議事に先立ち興津総務部長から、本日開催された第1回経営協議会において、大石、坂本、鈴木、牧田の各氏が本会議の学外委員として選出されたことの報告があり、各委員の紹介を行った。議長選出までの間、副議長の山本委員に議事進行を依頼することとした。

I 前回議事要録の確認

令和7年度第6回（令和8年3月25日開催）議事要録（案）について、原案どおり承認した。

II 審議事項

1 議長の選出について

山本副議長及び事務局から、資料1により、国立大学法人静岡大学長選考・監察会議規則第4条第1項に基づき、本会議に議長及び副議長1人を置き、委員の互選により選出すること、議長は学外委員からこれまで選出されてきたことについて説明があり、審議の結果、大石委員を議長に互選した。

2 前年度会議からの申し送り事項について

議長及び事務局から、資料2により、前年度会議から令和8年度学長選考・監察会議への申し送り事項について説明があった。

各申し送り事項については、次回の学長選考及び学長の業績評価に向けて、昨年度までの議論を踏まえつつ検討を進めていくことを確認した。

3 令和8年度における学長の業績確認について

議長及び事務局から、資料3により、令和8年度における学長の業績確認について説明があり、審議の結果、原案どおり承認した。

（委員等から出された主な意見）

- ・学長の評価について、野球で言えば監督にあたるので、選手の評価とは異なる。内容によっては定量化できないもの、1年程度の時間を要するものもあり、様々な指標に基づく評価が考えられるが、教職員ひとり一人の努力がなければ成果に繋がらないものである。

- ・大学の環境づくりにおいて学長が方針を示し、どのような成果が上がっているか、方針の有効性、短期的あるいは中長期的な方針かといった点にも配慮し議論を行う。
- ・文部科学省や他省庁等の外部要因の関係でうまくいかないこともある。評価は人のやる気にも関わることなので、慎重に行う必要がある。

4 国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和8年度）について

議長及び事務局から、資料4により、国立大学法人ガバナンス・コードにかかる適合状況等に関する報告書（令和8年度）のうち、学長選考・監察会議関連事項の適合状況について説明があり、これを確認した。

III 報告事項

1 令和8年度第1回教育研究評議会の報告について

議長及び事務局から、資料5により、令和8年度第1回教育研究評議会の報告について説明があった。

以上